告示

○総務省告示第百五号

統計法（平成十九年法律第五十三号）第二条第四項第三号の基幹統計の指定を次のように変更したので、同法第七条第三項において準用する同条第二項の規定に基づき公示する。

平成二十五年二月二十七日　総務大臣　新藤　義孝

基幹統計である法人土地基本統計の名称を法人土地・建物基本統計に変更し、作成目的を「国及び地方公共団体以外の法人が所有する土地及び建物の所有及び利用並びに当該法人による土地の購入及び売却についての基礎的事項を全国的及び地域別に明らかにすることを目的とする。」に変更する。

○外務省告示第五十八号

国際連合安全保障理事会決議第千五百三十三号に基づき設立された同理事会委員会が平成二十四年十二月十三日、平成二十四年十二月二十日及び平成二十四年十二月三十一日に発出した情報に基づき、国際連合安全保障理事会決議に基づく移動の制限及び資産凍結等の措置の対象となるコンゴ民主共和国に対する武器禁輸措置等に違反した者等を指定する件（平成十七年外務省告示第千百一号）の一部を次のとおり改正する。

平成二十五年二月二十七日　外務大臣　岸田　文雄

追加・改正項目

平成十九年外務省告示第二百八十一号、平成十九年外務省告示第五百九号、平成十九年外務省告示第六百七号、平成十九年外務省告示第六百七十一号、平成二十年外務省告示第三百六十二号、平成二十二年外務省告示第四百二十号、平成二十三年外務省告示第五十五号及び平成二十四年外務省告示第三十号により改正された平成十七年外務省告示第千百一号の別表に以下の項目を追加する。

34. スルタニ・マケンガ
Sultani MAKENGA
（別名）スルタニ・マケンガ大佐（MAKENGA, Colonel SULTANI）、エマニュエル・スルタニ・マケンガ（MAKENGA, EMMANUEL SULTANI）
（生年月日・出生地）1973年12月25日、コンゴ民主共和国ルツル地区（Rutshuru）
（旅券・人定情報）コンゴ民主共和国で作戦行動を行う３月23日運動（M23）グループの軍事指導者。コンゴ民主共和国国籍。
（指定の根拠）スルタニ・マケンガは、コンゴ民主共和国で作戦行動を行う３月23日運動（M23）グループの軍事指導者。スルタニ・マケンガは、コンゴ革命軍としても知られるM23の指導者として、武力紛争下において、殺害、傷害、性的暴力、拉致、強制移住を含む女性と児童を標的にした重大な国際法違反に関与し、責任を負っている。同人は、コンゴ民主共和国における武力紛争下における児童の徴兵と使用にかかるM23の行動に関連した国際法違反にも責任がある。M23は、スルタニ・マケンガの指揮下で、コンゴ民主共和国の市民に対し、広範な残虐行為を行った。
証言と報告によれば、スルタニ・マケンガの指揮下で作戦行動を行う兵士は、ルツル地区における支配を強化する方針の一環として、ルツル地区全域で、８歳の子どもを含む女性と児童を強姦した。マケンガの指揮下で、M23は、コンゴ民主共和国と当該地域において、広範な児童の強制的徴兵活動を行い、多くの児童に対し、殺害、傷害を行った。多くの強制された児童兵は15歳未満であった。また、マケンガは、武器及び関連物資の輸入及び所有に係る国内法を含め、武器禁輸を実施するためにコンゴ民主共和国がとった措置に違反して、武器と関連物資を受け取ったと報告されている。M23の指導者としてのマケンガの行動は、重大な国際法違反とコンゴ民主共和国の市民に対する残虐行為を含み、当該地域における治安、強制移住及び紛争の状況を悪化させた。

35. ボードワン・ンガリュイヒ・ワ・ミャムロ
Baudoin NGARUYE WA MYAMURO
（別名）ボードワン・ンガリュイヒ大佐（Colonel Baudoin NGARUYE）
（生年月日・出生地）1978年、コンゴ民主共和国ルベロ（Lubero）地区ルサマンボ（Lusamambo）
（旅券・人定情報）３月23日運動（M23）グループの軍事指導者。コンゴ民主共和国国軍ＩＤ：１―78―09―44621―80。コンゴ民主共和国国籍。
（指定の根拠）2012年４月、ンガリュイヒは、ンタガンダ将軍の命令下で、３月23日運動（M23）と呼ばれる元ＣＮＤＰの反乱を指揮した。同人は現在、M23内で３番目に地位の高い軍事司令官である。コンゴ民主共和国に関する専門家グループは、2008年及び2009年にすでに彼を指定するよう勧告していた。同人は深刻な人権侵害と国際法違反に関与し、責任を負っている。同人は、2008年から2009年の間及び2010年終りにかけて、M23のために、数百人の児童を徴兵し訓練した。同人は、殺害、傷害、拉致を行い、しばしば女性を標的にした。また、同人は、M23内の脱走兵の処刑と拷問の責任者である。2009年、コンゴ民主共和国国軍内で、同人はワリカレ地区のシャリオ村のすべての男性を殺害するよう命令を下した。同人は、ンタガンダ将軍の直接の命令を受け、マシシ地区及びワリカレ地区において武器、軍需品及び給与を与えた。2010年、同人はルコプ地区の住民の強制移住及び収用を組織した。また、同人は、2011年にイノサン・ジムリンダ大佐との緊張及び衝突の原因となった鉱物取引から利益を得ており、コンゴ民主共和国国軍内部の犯罪組織に深く関与している。

36. イノサン・カイナ
Innocent KAINA
（別名）イノサン・カイナ大佐（Colonel Innocent KAINA）、「インディア・クイーン」（India Queen）
（出生地）コンゴ民主共和国ルツル（Rutshuru）地区ブナガナ（Bunagana）
（指定の根拠）イノサン・カイナは現在３月23日運動（M23）の部隊指揮官である。同人は深刻な国際法違反と人権侵害に関与し、責任を負っている。2007年７月、キンシャサの駐屯地軍事裁判所は、2003年５月から2005年12月の間にイツリ地区で行われた人道に対する罪に関し、カイナは責任があると判断した。同人はコンゴ民主共和国政府とＣＮＤＰの間の和平合意の一環として、2009年に釈放された。2009年、コンゴ民主共和国国軍内部で、同人はマシシ地区における処刑、拉致、傷害を行った。ンタガンダ将軍の命令下で、指揮官として、同人は2012年４月にルツル地区で元ＣＮＤＰの反乱を開始した。同人は、マシシ地区の外から反乱兵の安全を確保した。2012年５月から８月にかけて、同人はM23の反乱のため、150人以上の児童の徴兵及び訓練を監督し、逃亡しようとする少年を射殺した。2012年７月、同人はM23の動員及び徴兵のため、ベルンダ及びデゴを訪問した。

37. エリック・バデジ
Eric BADEGE
（生年月日）1971年
（指定の根拠）2012年11月15日付けコンゴ民主共和国専門家グループの最終報告書によると、「エリック・バデジ中佐は、M23のマシシにおける中心人物であり、（他の軍事指導者とともに）共同作戦を指揮した」。さらに、「（2012年）８月にバデジ中佐が実施した一連の組織的攻撃は、M23がマシシ地区の相当部分を不安定化させることを可能にした」。元戦闘員によると、バデジ中佐は、攻撃を指揮する時は、マケンガ大佐の指揮下で行動した。
M23の軍事指揮官として、バデジは、武力紛争下において児童と女性を標的にすることを含む深刻な違反に責任がある。2012年11月の専門家グループ報告書によれば、女性と児童を含む市民を狙ったいくつかの重大な無差別殺人事件があった。2012年５月以来、ライア・ムトンボキは、M23の指揮下で、一連の組織的攻撃において数百人の市民を殺害した。８月に、バデジは、市民の無差別殺害を含む共同攻撃を実施した。11月の専門家グループ報告書は、これらの攻撃はバデジ及びセミヴンビ・ジャック・マコマ大佐により、共同で指揮されたと述べている。専門家グループ報告書によれば、マシシ地域の指導者たちは、バデジはこれらライア・ムトンボキの攻撃を現場で指揮したと述べている。